

令和 6 年度 徳島県薬事審議会

徳島県薬剤師確保計画の 進捗状況について

令和 7 年 3 月 17 日
徳島県保健福祉部薬務課

徳島県薬剤師確保計画策定の経緯

国の動き

- 令和 3 年 6 月に公表された「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会とりまとめ」において、**薬剤師の従事先には地域偏在や業態偏在があり、特に病院薬剤師の確保が喫緊の課題**であることが指摘。
- 令和 4 年度開催の「第 8 次医療計画等に関する検討会」において、薬剤師の確保に関する議論がなされ、都道府県の医療計画作成の手引きである「医療計画作成指針」に、**地域の実情に応じた薬剤師の確保策の実施等**が新たに記載。
- 令和 5 年 6 月、厚生労働省は、都道府県が薬剤師確保策を検討するに際しての参考として、「薬剤師確保計画ガイドライン」を作成。また、全国的に統一的な尺度を用いて各地域の薬剤師の偏在状況を相対的に示す指標として「薬剤師偏在指標」を算定・公表。

県の動き

- 国が示した薬剤師確保計画ガイドラインを参考に、「第 8 次徳島県保健医療計画」の中に新たに「**薬剤師確保計画**」を策定し、**薬剤師の地域偏在と業態偏在の解消に努める**。

徳島県薬剤師確保計画の策定

令和5年8月	医療審議会
令和5年11月	薬事審議会
	医療審議会 医療対策部会
	医療審議会
令和5年12月 ～1月	パブリックコメント
令和6年1月	薬事審議会
	医療審議会 医療対策部会
令和6年2月	医療審議会
令和6年3月	計画策定

徳島県薬剤師確保計画

計画の期間

- 令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間
- 3年ごとに見直し
- 最終目標年次は令和18年

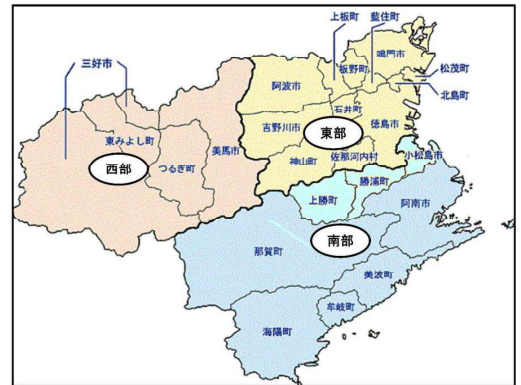
薬剤師確保のための施策

- 病院・薬局における薬剤師の採用にかかるウェブサイト、就職説明会等を通じた情報提供の支援
- 地元出身薬剤師や学生へのアプローチ
- 潜在薬剤師の復帰支援
- 地元大学と連携した取組

薬剤師の偏在状況

薬剤師の偏在状況

	県全体	東部	南部	西部
病院 薬剤師	0.94	1.06	0.76	0.62
薬局 薬剤師	1.03	1.14	0.84	0.71



目標偏在指標「1.0」

薬剤師の実際の労働時間（供給）＝薬剤師の必要業務時間（需用）

令和6年度の取組

徳島県内の病院薬剤師の偏在に関する実態及び病院薬剤師確保の現状等を把握するため、病院薬剤師会と共同し、

県内の病院104施設にアンケート調査を実施

調査期間 令和6年4月～令和6年6月

回答数 92施設

回収率 88.5%

(施設数)

	東部	南部	西部
対象施設	69	19	16
回答施設	59 (85.5%)	17 (89.5%)	16 (100%)

アンケート結果①

薬剤師の充足状況

	(施設数)		
	東部	南部	西部
不足	2 3 (39.0%)	9 (52.9%)	9 (56.3%)
充足	3 3 (55.9%)	7 (41.2%)	7 (43.8%)
回答なし	3 (5.1%)	1 (5.9%)	0 (0%)

アンケート結果②

薬剤師の募集に対する応募状況

	(施設数)		
	東部	南部	西部
募集に対し応募が不足	1 9	4	9
募集と同数以上の応募あり	1 3	7	2
直近3年間で募集なし	2 3	5	4
回答なし	4	1	1

アンケート結果③

直近3年間の薬剤師採用人数（県立3病院を除く）

（施設数）

	東部	南部	西部
0人 （直近3年間で募集なし） （募集したが3年間採用なし）	26 (23) (3)	8 (5) (3)	10 (4) (6)
1人	16	5	4
2人	8	0	0
3人	3	1	0
4人	2	0	0
5人以上	3	2	1

アンケート結果④

薬剤部業務は、あと何人の薬剤師がいれば十分に行えるか

（施設数）

	東部	南部	西部
0人	8	0	1
1人以下	13	6	6
2人	7	1	4
3人以上	4	2	0
回答なし	27	8	5

県内の薬剤師の現状（令和4年末時点）

- 薬剤師総数は2,595人、
そのうち薬局・医療施設の従事者は1,718人
令和2年末と比較し、**総数は、ほぼ横ばい**
- 薬局・医療機関に従事する**人口10万人当たりの薬剤師数**は、244.0人
全国平均202.6人を大幅に上回り、**全国第1位**
- 全国と比較すると、薬局・医療機関に従事する**50歳以上の薬剤師の割合が高い**
徳島40%（全国第16位）、全国平均37%
- 全国と比較すると、薬局・医療機関に従事する**薬剤師の平均年齢が高い**
徳島47.4歳（全国第13位）、全国平均46歳

学生の傾向

- 県内高校3年生の生徒数は減少
高校3年生6,198人（R1）→5,083人（R5）
- 薬学部進学者数は減少
薬学部進学者数84名（H27）→76人（R1）→73人（R5）
- 薬学部在籍数も減少
薬学部6年生116人（R1）→72人（R5）
- 近畿地区への進学が増加傾向
中四国79%、近畿14%（R1）
中四国72%、近畿25%（R5）

令和7年度事業の予定

- **徳島県薬剤師確保対策検討会の設置**

県薬剤師会、病院薬剤師会、地元大学等が参画

→より実行性のある取組を検討

- **薬剤師確保と人材育成**

県出身者や県内大学の薬学生に、就職先の周知や就職セミナー等を実施

→徳島県での就職を働きかけ

薬剤師向けに、最新の情報をテーマにした研修会を実施

→薬剤師の資質向上、職場の魅力度アップ

- **次世代啓発と育成**

中学生や高校生とその保護者に対し、薬剤師セミナー等を実施

→県内大学薬学部への進学を促す